

神奈川県作業療法士会平成 18 年度第 3 回理事会議事録

日 時：平成 18 年 9 月 19 日 18：50～21	場 所：神奈川県作業療法士会事務所
出席者：長谷川 錠内 田中 伊藤 亀ヶ谷 作田 三川 監事：佐藤 理事外：奥原 名古屋 岩野 澤口 池田 山田 野本	
議 題	内 容
1. 会長挨拶 2. 事務局報告（錠内） 3. 県 O T 学会に関して （名古屋県学会事務局 長） 4. 各部報告 ウェブサイト管理委	今年度の後半に入った。来年度の役員改選を迎えて大事な時期。また、9 月に入って様々な行事がある。日本作業療法士協会も W F O T を誘致しようという考えもある。県士会としても様々な取り組みが必要。 ・ 9 月下旬に O T 協会から会員管理専門の P C が導入される。 ・ 21 世紀の医療と福祉を考える会「中西しげあき氏」を協会推薦する。 ・ 北欧の保健を視察する研修旅行のお誘い。 ・ 介護支援専門委員研究大会のお知らせ。 ・ 第 4 回都道府県県士会役員研修会のお知らせ。 ・ 総合リハビリテーション研究会大会のお知らせ 別紙資料有 ・ 7 月より活動を開始している。 ・ 企画案 教育講演 演題発表 ポスター発表 ワークショップ 学術交流会 特に は市民公開講座的に出来ないかと模索中。 ・ タイムスケジュール案 浅井 どれくらいの人数を予想しているか 400 人位 錠内 県病院学会をやれたくらいしっかりした会場です。 参加ポイントもでます。 佐藤 神奈川県民をどれくらいよべるのか？公益法人を目指す 上で、「県民向けに総予算の何%かは使っている」というように することが必要ではないか。 長谷川 無料の市民向け広報を活用して広めていく必要がある。 ぜひ検討して欲しい。
4. 各部報告 ウェブサイト管理委	別紙資料有 審議事項

<p>員会（作田）</p>	<p>新部員候補 佐藤良枝 承認される 県学会のメールアカウントを発行した。</p>
<p>地域リハビリテーション推進部(錠内代理報告)</p>	<p>別紙資料有</p>
<p>広報部（松本）</p>	<p>審議事項 広報部新部員 田原智明（横浜市総合保険医療センター） 承認される</p>
<p>広報部対外広報班(岩野)</p>	<p>別紙資料有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業療法推進月間報告 今年度は動き出す時期が遅かったので、来年度に対しては、今年度中に実行委員長、委員を選出する。 ・ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド報告 8月20日～22日 県士会ブースを出展した。 ブース来場者約170名。 ・1万人健康ウォーク健康生活展 11月11日 ブース展示予定。
<p>保険委員会（伊藤）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護7に関して 横浜市では一部の区で猶予期間を過ぎたものは認めないところもあったようだが、市としては引き続きリハビリは猶予期間として認めていく方針とのこと。
<p>福祉用具検討委員会（亀ヶ谷）</p>	<p>別紙資料有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他団体へのOT派遣 ・講習会「第2回作業療法士が知っておきたい住宅改修の基礎知識」 ・例年行われていた、スキルアップ研修会が今年度実施中止になってしまった。来年度以降PT士会、神奈リ八等と協力して実施していくことも考えていきたい。
<p>学術部（三川）</p>	<p>別紙資料有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新人教育プログラム参加者報告 ・現職者研修補正予算検討 講師謝金に関して：新人研修プログラムの講師代同様、90分、1万円とする。 補正予算 浅井 予算は大丈夫なのか？ 三川 会場も安価であり、赤が出ることは予測しづらい。 長谷川 補正予算でやるからには、しっかりとした意味づけをもってほしい。

5.その他	<p>錠内 参加費 8000 円の根拠はあるのか？</p> <p>三川 協会の示したモデル金額になっている。 1 テーマ 1000 円の 8 講座開催 8000 円</p> <p>佐藤 ポイントはつくのか？</p> <p>奥原 ポイントもつき現職者研修終了の判ももらえる。 各講座単科を聴講することも出来る。</p> <p>・医療専門職公開セミナーのお知らせ</p>
-------	---

報告者：野本義則

文 責：錠内広之